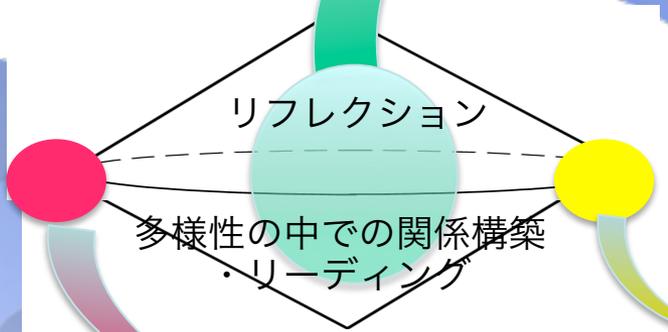


PSRアドバンス・プログラム2018 「創造的合意形成プロセス」 参加者の声

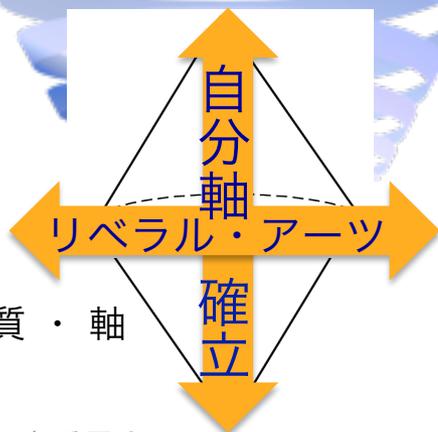
経済人コー円卓会議日本委員会

CAUX  ROUND TABLE

実践 (個別コンサルティング)



異文化間における
創造的合意形成



普遍・本質・軸

【PSRプログラム全体像】

(4) Cauxプログラム：6日間
(毎年7月上旬開講予定)

(3) フィールドワーク
7日間/回 年に2回の実施予定
**アジア、ヨーロッパで
各1回想定

(2) アドバンス・プログラム
3時間/x 6回 (隔月開催)

(1) 8ヶ月ベーシック・プログラム
2日間連続・終日/月 x 8回

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【他者への関わり】

- ▷ 「人を動かす」ということに対する意識が大きく変わった
- ▷ 現在、営業部内の新組織立ち上げを担っているが、支社のメンバーをしっかりと巻き込めるようになったと実感している
- ▷ これまで、社内やプライベートでメンバーの意見をまとめる時に、多方面の意見をまとめることに苦労していたが、結果だけを見るのではなく、共通項の抽出→抽象化にならぬよう、逆説・極論思考をもって深掘りしようとする自分がでてきた

【自分自身の変化】

- ▷ 仕事において、畑違いや経験のない場面においても動じることなく、腹落ちできる（自分も相手も）判断を、よりできるようになってきている

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【自分自身の変化】（続き）

- ▷ 全てを知ることにはできないとわかった上で、未知の領域における羅針盤である自分軸と良心のケアを大切にできるようになってきている
- ▷ 自分にはない発想をより興味深く聞き、その内容より、むしろ、なぜその人がそう考えるのかを探るようになった。そうすることで自身の視点において、気づきをもたらされ、それを自分のものとすることで、受講前よりも視野・視点が広がったと感じる。
- ▷ 異業種交流研修には初めて参加させていただいたが、企業風土・文化の違うメンバーと研修できたことで、社内メンバーとは全く違う発想や価値観など、多くの刺激を受けることができ、大変有意義な経験となった
- ▷ 他者の思考傾向を知ることを通じ、自分自身の考え方の癖に気づくことができた。それにより、これまでよりも他者のことをよりよく知ろうとするようになり、実際に知ることができるようになったと思う。

◆ プログラム受講前と比較してのご自身の変化

【自分自身の変化】（続き）

- ▷ 資本主義的、一神教的なものの見方に行き詰まり感を覚える昨今、東洋的・仏教的価値観を加えて、異なる視点を持つ必要があると感じるようになった
- ▷ いたずらに分析的であった思考が、もう少し整理された分析になった気がする
- ▷ 社会の様々な課題に対する見方・考え方が深まり、今後、職場での人間関係に役立てることができればと思う
- ▷ 変化しているかもしれないが、正直、まだ実感がない。物事に対する見方は変わってきているかもしれない。

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで）

【テクニック系】

- ▷ 多数のメンバーで考え方を整理していく上では、「幹」と「枝葉」をしっかりと見極めた上で、「幹」を握り、「枝葉」は余白として残す
- ▷ 抽象化傾向にあるときに、あえて逆説的なアプローチをすることで、見えてくるものがある
- ▷ ステートメントは、具体的に人を動かすための重要なツール
→ オーディエンス、キーワード、受け入れやすさ
- ▷ 「譲歩」と「優しさ」、「狡猾さ」と「したたかさ」の違い
- ▷ 異なる視点からの意見・考えを、そのまま理解する傾聴スキル（全力で集中して聴くモード）、まとめる発想力の強化
- ▷ 森を見ることはもちろん大切だが、意見をまとめる時には、木にも注意を払う。
→ 神は細部に宿る

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

【気づき・実感】

- ▶ さらに良いアイデアは、対話のインスピレーションから生まれることを、回を重ねるごとに実感した
- ▶ 日頃はなかなかできない深い議論を通じて、心の感度が高まった
- ▶ 全く視点が異なると思われる人とも、なんらかの共通点を見出せる可能性がある
- ▶ 人は違うということ。また、その違いは、深く話し合うことによってしか認識できないこと。
- ▶ 違いを認識した上で、築き上げられた共感は強い
- ▶ 一見、似ているような意見であっても、細部を突き詰めると、実は違うことが意外と多くある（会社が異なるとさらに）

◆ プログラムへの参加を通じ、ご自身にとって最も大きな学びとなった点（上位3つまで） ＊続き

【気づき・実感】（続き）

- ▷ 表面上のキーワードでステートメントを作成すると、同床異夢になってしまう
- ▷ 人を分け隔てなく好きになるよりも、人を大事にする人であることが、リーダーに求められる
- ▷ 心を揺さぶられる側でなく、揺さぶる人であれ

【機会】

- ▷ 世に示されている表面上のことだけで判断するのではなく、根底に横たわっていることまでに思いをめぐらせ、考える機会を得たこと
- ▷ 思考する習慣（物事の本質を探り当てたくなる傾向・想い）の深掘りと、それを表現する機会

◆ 学びを今後の仕事や日常生活にどのように活かしていきたいか？

【他者に対して】

- ▷ これまで以上に「人を大事にする」ということを自分なりに考え、メンバー（部下）と接することでチームとしての成果とメンバーの成長を支援していく
- ▷ 各プレイヤーにはそれぞれ立場や欲があり、その状況を踏まえた行動をとることをふまえて接していく
- ▷ 若いメンバーに教養を得る機会を設けていく
- ▷ 発言する際に、相手に理解されるコトバと表現で発信できるようにする
- ▷ どんな場面でも「聴く」ことに集中する。その中でベスト・メッセージだけを受け取るようにする。
- ▷ ステートメントはブレてはならない、という信念を貫く（繰り返し、繰り返し説き、仲間を一人ずつでも増やしていけば現状を変えられる）

◆ 学びを今後の仕事や日常生活にどのように活かしていきたいか？ ＊続き

【自分自身の中で】

- ▷ 物事を止観したり、たとえ忙しい状況にあっても時間が許す限りに置いては、逆説的なアプローチも試みた中で本質を探っていく
- ▷ 時間との戦いの日常の中で、経験だけを頼りにした拙速な判断をしていないか？を常に自問する
- ▷ 将来に禍根を残す意思決定をしないよう、あえて時間をおき止観する勇気を持つ
- ▷ 細部にこだわられる時間は現実にはなかなか取れないので、瞬時に捉えることができるよう、視座を上げ続けたい。そのために自分軸のメンテナンスを行う。
- ▷ 物事を進めていく上では、まずは性善説に立ってしっかりと余白を残す
- ▷ 違いを知ること。その上で、共感できる部分を探るということを日常生活の中でもやっていきたい。
- ▷ サステナビリティを考える上で、様々な示唆を得たので、今後活かしていく

◆ プログラムの一番の魅力

- ▶ 議論する上で、メンバーの前提となる部分が近く、活発な意見交換ができること（通常このようなテーマだと議論になりにくい）
- ▶ ビジネスと少し距離を置いた中で、一連のプログラムにあるようなテーマ内容を考えること自体に価値を感じます。学んだことは、仕事であれ、日常生活であれ、非常に有益なものでした。また、会社も年齢も性別も様々なキャリアのメンバーとの議論をする中で、多くの気づきがありました。
- ▶ 何を発言しても自由であること。そこから、また自分の思考が深まること。同時に、毎回、新しい気づきを参加者の皆さんからいただけること。総括すると、単純に楽しい！しかも役に立つ！！
- ▶ 普段、生活していると、あまり考えないようなことに対し、真正面からしっかりと考える良い機会
- ▶ 正解のない中で、ハイレベルな議論ができる良い機会
- ▶ 何を発言しても良い、思考・発想の自由で安全な空間

◆ プログラムの一番の魅力 ＊続き

- ▷ 純粹に課題に向き合えることと、そこから喜びや楽しさにつながる事
- ▷ 普段、話さないような深いトピックを、よく知らない他者と話し合えること
- ▷ 日常生活は「類は友を呼ぶ」で同じような思考パターンを持つ人とのコミュニケーションが多くなりがちであるが、全く異質の人々と出会えること

◆ その他感想など

- ▷ ベーシック・プログラムに続き、長い期間、多くの気づきやご示唆をありがとうございました。アドバンス・プログラムの2ヶ月スパンは、当初は長い印象でしたが、振り返ってみると、その間にも自らの変化や二次的な気づきがあり、大切な熟成期間であったと受け止めています。まだまだ終わりはありませんが、自分軸というフレームワークを使い続け、振り返りと実践に今後も努めたいと思います。より良い社会に向けて！
- ▷ ベーシック・プログラムから足掛け1年半あまり経過して、これで終了となるとある種、淋しい思いもあるものの、ビジネス・プライベートを問わず、今後ともこれまで学んだことについて考えていきたい。

◆ その他ご感想など ＊続き

- ▶ 今回のアドバンス・プログラム以前から（ベーシック・プログラム、Cauxプログラムに参加）、本当にたくさんの事を学ばせていただきました。過去の自分から大きく成長できているのでは、と感じています。
- ▶ 日々、業務に追われる中で、2ヶ月に一度の頭を切り替える大変良い機会でした。Cauxプログラムと合わせ、大変勉強になりました。
- ▶ 毎回、他のメンバーの方とのコミュニケーションから多くを学びました。同じ課題に取り組んでいても、こうも視点が違うのか！と感じ、興味深かったです。
- ▶ 言葉にしきれていない様々な想いも全て込めて、貴重な機会をいただいたことに心から感謝しています。

CAUX  ROUND TABLE